



# 桂小だより

KATSURA NEWS LETTER

8月号

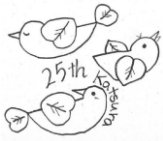
令和4年7月20日

横浜市立桂小学校

Web: <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/katsura/>

学校についての詳細や学校生活については HP をご覧ください。

E-mail: [y3katura@edu.city.yokohama.jp](mailto:y3katura@edu.city.yokohama.jp) 桂小学校 HP の QR コードはこちら→



## 授業とコンクール

校長 寺澤 みゆき

いよいよ夏休みです。夏の催しものの情報も、今年は多くなっているように感じます。楽しみが戻っては来ていますが、お出かけの際は体調管理に努めていただき、よい思い出にさせていただけたらと思っております。

さて、夏休みといえば自由課題。学校には様々な作品募集やコンクールのお知らせが届きます。日常では取り組みにくい学習にチャレンジするよい機会と思い、一覧にしたものやフライヤーを子どもたちに配付しました。

今回は同じ表現活動でも授業で行う場合と夏休みの作品募集で取り組むものの違いについて、「絵に表す」活動を例にしてお伝えしたいと思います。

学習には、どの教科にも目標があります。図画工作科の目標は、次のとおりです。

表現及び鑑賞の活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の形や色などと豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して理解するとともに、材料や用具を使い、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりすることができるようにする。
- (2) 造形的なよさや美しさ、表したいこと、表し方などについて考え、創造的に発想や構想をしたり、作品などに対する自分の見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
- (3) つくりだす喜びを味わうとともに、感性を育み、楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養い、豊かな情操を培う。

要約すると、学校の授業は、かいたりつくったりする行為を通して、工夫して創造的に表したりすることや、見方や感じ方を深め、感性を育み、豊かな情操を培うことを目標にしているということです。そして、授業で取り組み、できあがった絵や工作の作品は、目標に謳われている力を一人ひとりにつけるために行った学習の結果です。授業とは、よい作品をつくることを目的としているものではないのです。

一方、コンクールとは芸術を奨励するために行う、作品の優劣を競う催しや競技会のことです。大前提として、コンクールにはほとんどの場合、テーマがあります。どんなに技能が高く、時間をかけた作品であっても、主催者の示したテーマに即してなければ審査のテーブルにのることができません。コンクールに応募する場合は、主催者の意に叶う「作品づくり」を意識して取り組むことが必要となるでしょう。夏休み、絵や作文などのコンクールに応募しようとしているお子様へご助言いただく場合は、上記のことを踏まえお話いただけるとよいと思います。

授業とは全く違った視点で取り組む表現活動も、休みだからこそ、家庭だからこそできる学習です。また、外部団体から認められることは、大きな励みになります。私も小学生の時に、動物園での写生大会で賞を取ったことが、大きな自信になった経験があります。

長期休業だからこそできる経験や体験をし、一回り成長した子どもたちに会うことを楽しみにしています。

地域の皆様、保護者の皆様、本校の教育活動へのご理解ご協力、そして励ましをありがとうございました。休業明けもどうぞよろしく願いいたします。